



■新入生歓迎会（4月14日）

本校生徒会の生徒が企画した新入生歓迎会が、体育館で行われました。新入生28人は、生徒会の係から一人ずつ紹介を受けて、全校生徒が待つ体育館に入場しました。スライドを使い、生徒会、教職員、学校行事、部活動の紹介など、創意工夫した内容で、心のこもった温かい歓迎会でした。

今回の生徒会企画では「ランキングゲーム」が行われ、さまざまなランキングを当てていきました。新入生に厚高のことをたくさん知ってもらい、安心・安全で充実した3年間を過ごしてほしいと願っています。

■開校記念日（4月20日）

歴史と伝統ある本校『北海道厚真高等学校』は、開校70周年を迎えました。開校以来「よき市民、よき社会人を育てる」を継続し、地域の多くの皆さんに愛され、支えていただき今があります。開校記念式典は秋ごろを予定しています。今年も本校の農業体験や林業

体験、職場体験学習、強歩大会など、さまざまな場面で生徒が活躍する姿にご期待ください。

■生徒総会（4月28日）

全校生徒70人が、体育館で生徒総会を開きました。令和4年度の活動報告と生徒会会計決算報告、令和5年度の活動計画と生徒会会計予算について審議しました。強歩大会のコースを変えてほしいなど、各クラス代表からの質問について生徒会執行部が回答し、拍手で原案通り承認されました。生徒総会を通して、集団での討議の方法や態度について学ぶことができました。

■来校されている先生

厚真高校には、多くの先生方が定期的に来校されています。学習指導員（毎週月曜）の源九詔子先生、教育局A.L.T.のアマンガ先生、厚真町A.L.T.のメリッサ・チョウマクシー先生です。また、今年度のスクールカウンセラー（2人）は、月1回交替で来校されています。先生方は生徒の自己実現を助ける役割を果たし、生徒はさまざまな先生方と触れ合うことができます。



二つの「祭り」が今、公営塾でホットな話題になっています。一つ目の祭りは「あつま田舎まつり」です。前夜祭では厚真市街地で5年ぶりにパレードが再開す

厚真の祭りに 寄せる想い

るため、厚高生も全校挙げて出演します。

町内在住の生徒は踊りを覚えています。町外から通う生徒は初めての経験です。ゼロから踊りを覚えるため、あゆみ会の方の指導を受けて練習を重ねます。地域住民との交流になればと考えています。また、出店が良い経験になるとの我々の思いもあり、本祭では公営塾でブースを出そうと計画しています。これから生徒たちと話し合いますが、サービスを提供することが、貴重な体験になると伝えていくつもりです。

もう一つの祭りは、生徒会が中心となる7月の学校祭です。スローガンや日程が決まり、個人発表の準備を進める時期でもあります。このコーナーでも何度か話題になっていますが、先輩の姿に憧れてバンドでステージに立ちたいという生徒がいます。曲を決めて、練習を繰り返し、リハーサルの日程を決めて…と、不安半分、期待半分で取り組んでいるようです。

先の入学式では、校長先生から「チャレンジしなかったことを後悔しないしてほしい」と激励がありました。今年も仕掛けはたっぷり用意します。厚高生にはさまざまな体験を成長の糧にしてほしいと願っています。

教育魅力化支援員 川嶋 圭



商品を試作する厚高生

よりみち通信



「よりみち学舎」は厚真高校と地域が連携しながら放課後を利用して生徒が自ら目標を発見し挑戦する公営塾です。